

令和5年度科学研究費助成事業「学術変革領域研究（A）」に係る中間評価結果

領域番号	20A301	領域略称名	グリアデコード
研究領域名	グリアデコーディング：脳-身体連関を規定するグリア情報の読み出しと理解		
領域代表者名 (所属等)	岡部 繁男 (東京大学・大学院医学系研究科（医学部）・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、多種多様な機能が明らかになりつつあるグリア細胞に着目し、神経回路の制御機構の解明、グリアによる脳と末梢組織の関連の制御機構の解明、グリア細胞によるシグナル伝達のデコーディング技術の開発の3つの目標を計画研究、公募研究が連携しながら、それぞれに大きな成果を論文発表していることは高く評価できる。またデータベースの構築、グリアデコーディング技術の共有、本研究領域内の研究交流を活発に行う体制を整えたことも評価できる。さらに、アウトリーチ活動による情報発信や若手研究者の育成に関する体制を整えたことも高く評価される。

一方で、一つの懸念は、高い個別成果をまとめる統合的で新たなグリア像の方向性がまだはっきりと提示されていない点である。今後の研究領域設定期間に期待されることは、異なる階層に渡る異なる現象に関する個別のデータを統合して抽出し、グリアの新たな情報処理の原理、モデル、メカニズムとして一般化していくことである。そのような新たなグリア情報処理像について、教科書にも記載可能なレベルまで高めることは本研究領域の高い研究力を持ってすれば可能であり、グリアのデコーディング領域の成果として集約させていくことが必要である。